

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年5月11日

【四半期会計期間】 第98期第1四半期(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

【会社名】 JUKI株式会社

【英訳名】 JUKI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 清原 晃

【本店の所在の場所】 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1

【電話番号】 042(357)2211(代表)

【事務連絡者氏名】 財務経理部長 鈴木正彦

【最寄りの連絡場所】 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1

【電話番号】 042(357)2211(代表)

【事務連絡者氏名】 財務経理部長 鈴木正彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第97期 第1四半期 連結累計期間		第98期 第1四半期 連結累計期間		第97期	
	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成24年1月1日 平成24年3月31日	自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日
売上高 (百万円)		22,504		19,114		65,326
経常利益又は経常損失() (百万円)		365		659		1,374
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (百万円)		445		722		726
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)		364		258		44
純資産額 (百万円)		12,681		11,470		12,361
総資産額 (百万円)		109,369		115,984		114,263
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (円)		3.45		5.59		5.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)						
自己資本比率 (%)		11.38		9.66		10.59

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
- 4 第97期は、決算日変更により平成23年4月1日から平成23年12月31日までの9ヵ月間の決算となっております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、前連結会計年度(平成23年12月期)より決算日を3月31日から12月31日に変更しており、前連結会計年度は4月1日から12月31日までの9ヵ月間となっております。このため、平成24年12月期第1四半期と平成23年12月期第1四半期とは対応する期間が異なるため、前年同四半期との増減比較については記載していません。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間は、円高による影響および中国市場での需要の落ち込みがあり、売上高は191億1千4百万円、経常損失は6億5千9百万円となりました。また、四半期純損失につきましては7億2千2百万円となりました。

(主なセグメント別の概況)

セグメント別の売上高については、参考として、前年同期間(平成23年3月期第4四半期(平成23年1月1日から平成23年3月31日まで))との増減比較を記載しております。

縫製機器事業

中国においては金融引き締め等により設備投資需要が低迷し、その他の地域においては欧州債務危機の影響により需要が減少したことなどから、縫製機器事業全体の売上高は126億7千5百万円(対前年同期間比24.6%減)となりました。

産業装置事業

中国での売上は落ち込みましたが、その他アジア地域での需要が増加したことなどから、産業装置事業全体の売上高は47億6百万円(対前年同期間比1.4%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億2千1百万円増加して1,159億8千4百万円となりました。たな卸資産などが増加したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ26億1千2百万円増加して1,045億1千3百万円となりました。有利子負債が増加したことなどによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ8億9千1百万円減少して114億7千万円となりました。利益剰余金が減少したことなどによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発費の総額は、12億4千7百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年5月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	129,370,899	129,370,899	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は1,000株であり ます。
計	129,370,899	129,370,899		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年3月31日		129,370		15,950		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(平成23年12月31日)に基づく株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 150,000		普通株式
完全議決権株式(その他)	128,841,000	128,841	普通株式
単元未満株式	379,899		普通株式
発行済株式総数	129,370,899		
総株主の議決権		128,841	

(注) 「単元未満株式」には、当社保有の自己株式273株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) JUKI株式会社	東京都多摩市鶴牧 2 - 11 - 1	150,000		150,000	0.12
計		150,000		150,000	0.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

なお、平成23年6月28日開催の第96回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認され、決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、前第1四半期連結累計期間は平成23年4月1日から平成23年6月30日まで、当第1四半期連結累計期間は平成24年1月1日から平成24年3月31日となっております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,241	6,497
受取手形及び売掛金	² 20,978	² 19,657
たな卸資産	42,151	45,208
その他	5,293	4,982
貸倒引当金	1,161	1,197
流動資産合計	73,504	75,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,223	16,675
土地	7,464	7,464
その他(純額)	4,874	4,760
有形固定資産合計	29,562	28,900
無形固定資産	1,633	1,652
投資その他の資産		
その他	10,351	11,064
貸倒引当金	788	781
投資その他の資産合計	9,563	10,282
固定資産合計	40,759	40,835
資産合計	114,263	115,984
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 14,427	² 12,473
短期借入金	³ 47,425	³ 51,402
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	220	425
賞与引当金	332	576
その他	5,149	6,816
流動負債合計	67,596	71,733
固定負債		
社債	50	40
長期借入金	³ 25,396	³ 24,014
退職給付引当金	6,535	6,474
役員退職慰労引当金	176	153
その他	2,147	2,098
固定負債合計	34,305	32,779
負債合計	101,901	104,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,950	15,950
利益剰余金	3,646	2,309
自己株式	58	58
株主資本合計	19,538	18,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	222
繰延ヘッジ損益	78	369
為替換算調整勘定	7,378	6,849
その他の包括利益累計額合計	7,436	6,995
少数株主持分	260	265
純資産合計	12,361	11,470
負債純資産合計	114,263	115,984

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	22,504	19,114
売上原価	16,619	14,328
売上総利益	5,885	4,785
販売費及び一般管理費	5,597	5,016
営業利益又は営業損失()	287	230
営業外収益		
受取利息	33	23
受取配当金	39	6
為替差益	301	-
その他	123	146
営業外収益合計	497	175
営業外費用		
支払利息	395	394
為替差損	-	178
その他	23	31
営業外費用合計	419	604
経常利益又は経常損失()	365	659
特別利益		
固定資産売却益	278	77
特別利益合計	278	77
特別損失		
固定資産除売却損	15	9
投資有価証券評価損	41	-
ゴルフ会員権評価損	-	13
特別損失合計	57	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	586	604
法人税等	142	123
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	444	727
少数株主損失()	1	4
四半期純利益又は四半期純損失()	445	722

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	444	727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	202
繰延ヘッジ損益	5	291
為替換算調整勘定	53	557
その他の包括利益合計	79	468
四半期包括利益	364	258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369	266
少数株主に係る四半期包括利益	4	7

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、ジューキ・インディア(株)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、当第1四半期連結会計期間において、JUKI家庭用ミシン(株)は清算により、連結の範囲から除外しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

【追加情報】

外貨建予定取引に係る為替予約取引の処理

昨今の為替相場の変動が著しいことなどから、社内規程等を変更し、外貨建予定取引に対応する為替予約取引を実施したため、その一部について当第1四半期連結会計期間よりヘッジ会計を適用し繰延ヘッジ処理を行っております。

これにより、為替予約取引の時価評価差額のうち300百万円を繰延ヘッジ損益(借方)として計上しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 手形割引高

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
受取手形割引高		911百万円

2 四半期末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
受取手形	95百万円	204百万円
割引手形		161 "
支払手形	0百万円	0 "

3 財務制限条項

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
経常損益に係る財務制限条項が付されている借入金残高	24,570百万円	23,510百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。また、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、重要性が乏しいため記載を省略しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
減価償却費	836百万円	828百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	387	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月28日 定時株主総会	普通株式	387	3.00	平成23年12月31日	平成24年3月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,658	5,960	20,619	1,885	22,504	-	22,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	1,097	1,124	351	1,475	1,475	-
計	14,685	7,058	21,743	2,236	23,980	1,475	22,504
セグメント利益	454	213	667	149	817	451	365

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鑄造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 451百万円には、セグメント間取引消去 0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 451百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,675	4,706	17,382	1,731	19,114	-	19,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	626	648	286	934	934	-
計	12,697	5,333	18,030	2,018	20,049	934	19,114
セグメント利益又は損失 ()	127	47	174	101	73	586	659

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鑄造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失()の調整額 586百万円には、セグメント間取引消去 2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 583百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 1 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
1 株当たり四半期純利益又は四半期純損失()	3円45銭	5円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	445	722
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失()(百万円)	445	722
普通株式の期中平均株式数(千株)	129,221	129,220

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載してありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 5 月 7 日

JUKI株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 平野 満

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村 彰夫

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているJUKI株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、JUKI株式会社及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。